



麻生のまちづくり



麻生まちづくり市民の会広報

第11号 2005年4月

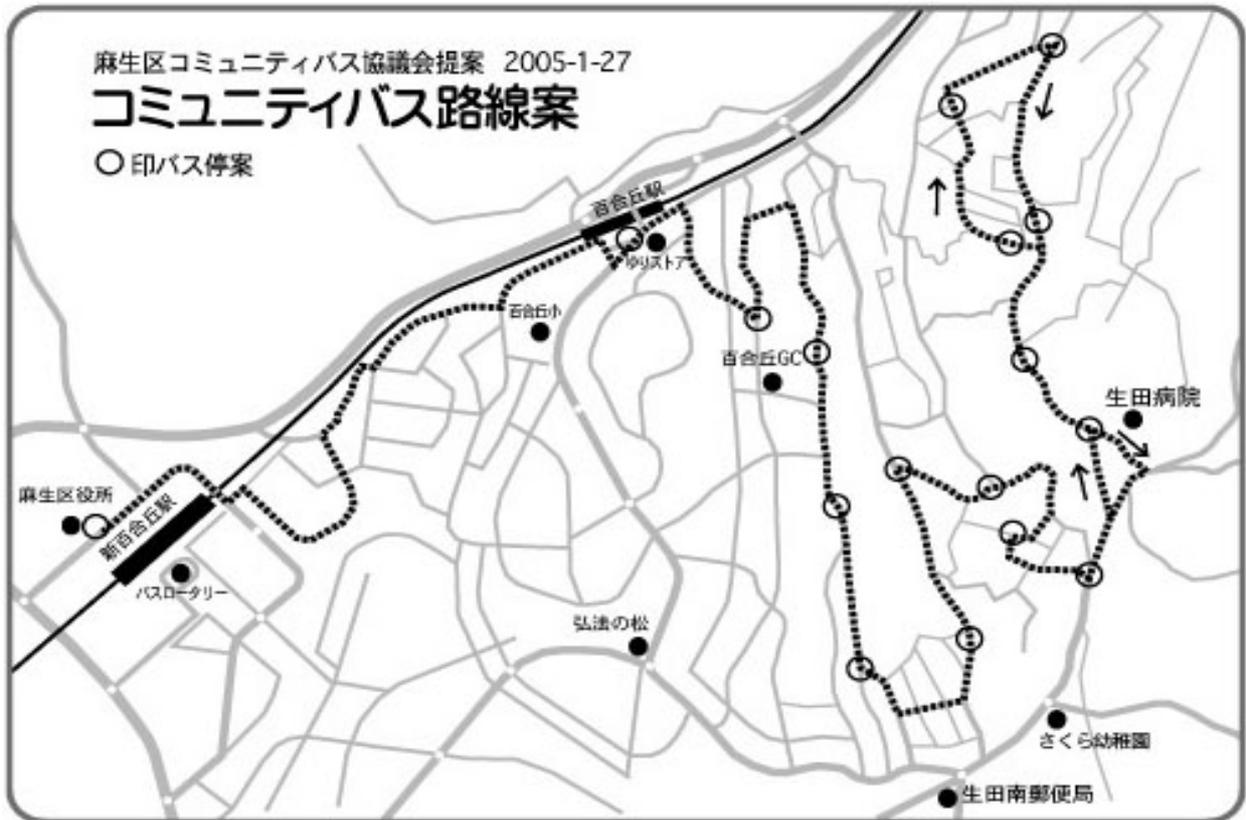
いよいよ巣立ちます 「麻生区コミュニティバス協議会」「ファッションショー」

「麻生まちづくり会議」で生まれ、「麻生まちづくり市民の会」が育ててきた「麻生区コミュニティバス協議会」と「麻生ハートフルエイジファッションショー」（高齢者ファッションショー）が市民の会から独立し、それぞれ独自の活動を展開していくことになりました。

コミュニティバス協議会は「市民の会」、高石地区町内会有志などが中心となり、麻生区の交通不便地域解消をめざして結成され、会員は現在74名にも及びます。1月に路線案をまとめ、3月にはテスト走行を実施しました。（詳細は3ページに）

一方、ファッションショーは、17年度「魅力ある区づくり推進事業」（注）の一つとして活動を進めていくことになりました。現在、1回から4回のショーに

出演した高齢者モデルに対し、ファッションショーがめざす仲間づくりや健康生き甲斐づくりがどの程度実現できているかをアンケート調査しており、その結果を今後に生かしていきます。



【注】「魅力ある区づくり推進事業」・・・区民と区民に身近な区役所が協力しあい、地域の特性、地域的な課題、区民要望を反映した事業を実施し、区の個性を生かした個性の推進に資することを目的とした事業。

市民の手ですすめてまーす “まちづくり”

～ 「麻生まちづくり市民の会」 1年間の主な活動～

実践部会

- 1) 福祉・コミュニティ小委員会
第1回コミュニティフォーラムの開催(1.22)
- 2) 緑・環境小委員会
・「麻生のみどりを守る」市民懇談会の開催(3.1)
・葉積緑地の保全活動と愛護会設立のための調整
・「山ゆり講演会」の開催(10.7)
・山ゆりの球根の植栽(11.5～11末)
・地球温暖化防止のための麻生区CO2削減宣言活動
・第7回地球環境フォーラムに出展
・あさお区民まつりに出展エコライフチャレンジアンケート調査実施(10.7)
- 3) 道路・交通小委員会
・コミュニティバス運行実験の結果報告説明会開催
・コミバス協議会設立
・「ひやり」マップ作成-学校関係者に協力を依頼して危険箇所一覧マップを作成
・岡上跨線橋付属歩行者用階段の改善に向けた調査、研究ならびに提案

パートナーシップ推進部会

- 1) (仮)新しい市民利用施設小委員会
(地域貢献施設検討グループ改め)
・(仮)新しい市民利用施設市民検討委員会設置要綱検討
・運営スタッフの体制の整備
・スタッフ事前学習として、バックアップ部会と連携し類似2施設の調査研究を実施
・市民検討委員会に事務局及び運営スタッフとして参画。
- 2) 落書き消し小委員会
(課題検討グループ改め)
・これまでの課題の整理(区民懇、区づくり白書)
・現在の課題の発見
・景観形成協議会との連携による第1回テス

ト版落書き消しの実施

- ・「落書き消し隊」結成への取り組み

バックアップ部会

- 1) 区民活動支援ルーム運営委員会
・会議コーナー、印刷機器類の利用管理、簡易製本機・ラミネーターの設置
・支援ルーム運営委員会(4回)、役員会(月2回)、利用登録者の集い(交流会含む、2回)
・区民活動支援ルームだより(11～14号)発行
・支援ルームの歩み、活動紹介カード集作成
- 2) 活動の場の確保と情報提供小委員会
・区内公的施設の書面調査、照会調査、現地調査および調査結果の整理
・調査終了施設のデータ作成
・「政策情報かわさき」17号の特集「成熟社会における地域資源とまちづくり」に活動内容を掲載
- 3) 交流会・学習会などの企画・実行小委員会
・講習会達人シリーズ(延べ参加者数:120名)
「広報紙・チラシづくりの達人になろう」(5.29)
「運営の達人になろう」1-市民活動団体の活動資金と経理、2-市民活動団体の組織運営(7.31-8.28)
「会議の達人になろう」1-会議のルールを作ろう、2-ワークショップを運営しよう(11.20-11.27)
「チラシ作り実践講座」(3.10)
・支援ルーム利用登録者の集い(交流会)共催
・「(仮)新しい市民利用施設検討」運営スタッフ事前調査実施支援
- 4) 情報検討小委員会
・パソコン研修(述べ参加者数:50名)
「体験コース」11回(6.15-8.24)
「ワード講習(体験コース、初級コース)」各5回(11.2-12.13)
「エクセル講習(体験コース、初級コース)」各5回(1.24-2.22)

第1回コミュニティフォーラムの開催

開催日時 2005年1月22日(土)13:30~17:30
場所 麻生区役所 4F大会議室 参加者91名

「子育てを通じて作る、地域のつながり」をメインテーマに、講演会、実践の場からの活動報告などを行いました。またワークショップ形式で「地域のつながりづくり」について検討しました。地域のつながり作りの第一歩は「挨拶をすること」でした。挨拶をすることは、いつでも、誰でも、どこでも、やろうと思えばすぐ出来ます。



支援ルーム「第6回利用登録者の集い」

～出会い・交流の場づくり～(2/19)

30団体29名が参加した集いでは、はじめに畠山地域振興課長から、3年にわたって工夫を重ねてきた支援ルーム運営の結果、利用登録団体数は194団体にも及び、行政としても高く評価しているとのあいさつがあり、支援ルームへの期待の高さが伝えられました。

今回は利用登録者間の多様な相互交流づくりの場と位置づけて、第2部を交流会にしました。また、それに先立ち、交流の一助とするために「活動紹介カード集」(194登録団体の内、100団体収録)を作成し、当日参加者に配布されました。

交流会では4グループに分かれ、各自の所属団体紹介、カード集への感想などを皮切りに活発な話し合いが繰り広げられました。(区民活動支援ルーム運営委員会)



チラシ作り実践講座

～見てください！私のチラシ～3/10)

昨年5月に開催した「広報紙・ちらしづくりの達人になろう」に参加した人たちから出された、ぜひ自分の力でチラシを作りたいとの要望に押されて実現したのがこの講座。マイタウン21の岩倉編集長に再度講師をお願いし、参加者は市民館備え付けのパソコン相手に真剣に取り組みました。



“テキストボックスを使いこなす”、“一番伝えたい情報は何かを把握する”など、プロとしてのキャリアから発信される耳よりなノウハウにしきりにうなずきながらチラシ作りに挑戦した参加者たち。これからの活動に早速生かしていきたいと張り切っていました。(交流会・学習会などの企画・実行小委員会)

コミバス 高石地域をテスト走行実施

麻生区コミュニティバス協議会が1月に路線案を提案したところ、川崎市まちづくり局交通計画課はその熱意に応え、専門家のランドプレーン社を起用し3月11日に提案路線のテスト走行の実施が実現しました。このテストには、協議会メンバー、まちづくり局交通計画課、麻生、多摩両区役所、麻生建設センターが参加しました。

ここに至るまでの簡単な経緯ですが、昨年8月から3回にわたり、町会連合会のご協力を得てコミバス実現への区内の意向を打診することから始め、11月29日「麻生区コミュニティバス協議会」を結成。そこで検討された結果、高石コースを選定しました。

協議会ではテストの結果、一部コース変更もあると思いますが、早期実現に向けて地元のご理解、ご協力をいただき、進めていきたいと考えています。

(麻生区コミュニティバス協議会
会長 碓井勝次)

「(仮称)新しい市民利用施設」の検討への 「麻生まちづくり市民の会」の取り組み

新百合ヶ丘駅南口の旧あさひ銀行グランド跡地に、区民活動の拠点となる「(仮称)新しい市民利用施設」が建設され、平成19年4月から利用出来る見込みです。この施設を検討する組織として「(仮称)新しい市民利用施設市民検討委員会」が平成16年12月15日(水)に発足しました。検討委員会は公募委員(15名)、区内関連団体からの推薦委員(12名)、学識経験者(1名)から構成され、委員長には武藤博巳法政大学教授が選出されました。また、「麻生まちづくり市民の会」では、検討委員会の作業を支援するために、パートナシップ推進部会の会員を主体に12名で市民組織「運営スタッフ」を結成しました。麻生区役所地域振興課と共同で事務局として種々の作業をしています。

検討委員会の活動状況

検討委員会では、現在4グループに分かれてワークショップ(以下「WS」と記します)形式で、建物の内容の検討を行っています。建物は、鉄骨造2階建て、延床面積300㎡が上限、が前提条件です。第1回WS(1月20日開催)、第2回WS(2月27日開催)では検討委員各人が描く施設のイメージや機能、用途などを自由に話合いました。色々な意見が出ました。第3回WS(3月1日開催)からは絞込みを始め、必要な部屋とその大きさ(面積)をリストアップし、総面積が300㎡以下になる様検討しました。次回WS(3月25日開催予定)では大まかなレイアウトを決め、特に強調したい点を列挙します。グループ毎に4種の案が出来ます。

4月以降に検討委員会として市長への提案をまとめます。

市民の会の課題を解決に向けて

市民の会は最終年度を目前に控え、組織運営上の課題について、会員アンケートや全体意見交換会を実施し、課題を洗い出してきました。これを受けて運営委員と各部会から選出された会員で構成される課題検討委員会(特命委員会)が2月に設立されました。

はじめに課題を早期解決課題と長期解決課題に整理した後、このうちの早期解決課題を検討。最終年度に活動成果が上がるよう、実効性のある解決策を4月16日の会員総会で報告できるように討議を進めています。

第3回市民自治創造・かわさきフォーラム開催



日時: 3月12日(土)~13日(日)9:30~17:00
場所: 川崎市中小企業・婦人会館

フォーラムの目的

川崎市は南北に細長く、環境や産業・文化・暮らしなど大きな違いがあり、相互のつながりが少なく、同じ市民同志で、情報を交換し、違いを認め合い、共通のテーマについて考え、市民の自治を創造しようと集まりました。山田太一さんの基調講演、10の分科会、交流会など市長も参加して、二日間にわたり開催しました。市民の会は実行委員として参画しました。

麻生まちづくり市民の会、今後のスケジュール(傍聴が出来ます。会場は区役所地域振興課にお問い合わせ下さい)

麻生まちづくり市民の会総会……4月16日(土曜日)13時30分から区役所会議室

編集後記 16年度のとりまとめをした広報をお送りします。2年間の仕上げとして、コミバスとファッションショーの2活動が独立して歩き始めました。芸術の町麻生に2007年昭和音楽大学が開校するとの発表もありました。暗いニュースが多いとき、来年度はさらに市民の会発の明るいまちづくりのニュースをお知らせしたいと思います。(確井)

発行: 麻生まちづくり市民の会
編集: 広報委員会

連絡・問い合わせ先: 麻生区役所地域振興課 電話965-5116